

# 中小企業あきた

AUGUST  
8  
2010



- 1 平成22年度 第3回理事会を開催！ ..... 1  
～6つの「専門委員会」を設置～
- 2 「秋田県官公需総合相談センター」を  
開設しました！ ..... 3  
～「成22年度中小企業者に関する国等の契約の方針」が閣議決定～
- 3 「中小企業憲章」が閣議決定 ..... 4  
～中小企業組合の取組を支援～
- 4 中小企業の先進事例紹介 ..... 5  
～「中小企業白書2010年版」より～part1

- 景況レポート6月分 ..... 13
- 日本列島組合探検隊 ..... 14
- 話題の広場  
中央会事業より ..... 15  
アラカルト ..... 15  
支援団体活動レポート ..... 16  
インフォメーション ..... 17  
組合ティールーム ..... 18

## TOPICS 1

トピックス ● SPECIAL FEATURES ●

## 平成22年度 第3回理事会を開催！

～6つの「専門委員会」を設置～



7月6日(火)、平成22年度第3回理事会を新役員体制で、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において開催した。

開催にあたり塩田会長は、「秋田県全体を良くしていくために、役員の皆様とは互いに情報発信をしながら、有機的に連携してネットワークを組み、事業を推進していきたい。中央会活動ビジョンについては、『強い組合・強い企業づくり』の視点に基づく各目標を達成できるように、各種支援事業に取り組んでいく。これからは従来の形にとらわれずに新たな視点で行動することが必要であり、ご協力をよろしくお願ひしたい。」と挨拶を行った。

引き続き、議案の審議が行われ、会員の加入・脱退が承認されたほか、新「専門委員会」の設置及び役員分担、東北・北海道ブロック会長会議へ

の要望事項、本会の事業概要等について、報告及び協議を行った。

なお、役員分担については、昨年度まで設置していた専門委員会の体制を見直し、今年度からは各業種毎により具体的な議論を行い、意見・要望の取り纏めや本会事業の立案に結びつけるために、新たに6つの区分での専門委員会を設置することとし、担当役員が決定した。(次ページ参照)

また、東北・北海道ブロック会長会議への要望事項については、「景気・格差対策」「中小企業対策予算の拡充と支援策の強化」「中小企業対策税制の拡充」等、20項目の要望事項が決定したほか、本会の事業概要については、今般作成した「平成22年度中央会事業ガイドブック」により、事業内容の紹介を行った。

その後の役員懇談会では、各役員から組合を取り巻く諸事情について意見や状況報告が行われ、資格取得者養成の取組やイベントの開催など組合活動の報告のほか、後継者が県外から秋田に帰り、組合の「若手の会」が結成されたという喜ばしい報告もあった。



平成22年度 専門委員会  
委員名簿

総務企画委員会			食・農・観連携産業委員会		
委員長	原田 啓藏	秋田たばこ販売(協)	委員長	柳田 聰	秋田県主食集荷商業(協)
副委員長	大門 一平	秋田県印刷(工)	副委員長	後藤 一	秋田県菓子(工)
	矢吹 達夫	秋田県豆腐油揚(商工)		矢吹 達夫	秋田県豆腐油揚(商工)
	武藤 真人	秋田県パン(協)		浅利 滋	秋田県味噌醤油工業(協)
	進藤 政弘	秋田県中小企業青年中央会		小玉真一郎	秋田県酒造(協)
	佐賀 善美	コーディネート秋田(協)		武藤 真人	秋田県パン(協)
				佐藤 武義	(協)秋田県旅行業協会
ものづくり委員会			卸・小売商業委員会		
委員長	菊地 成一	秋田県木材産業(協連)	委員長	桑原 功	(協)秋田卸センター
副委員長	藤澤 正義	秋田県鐵構工業(協)	副委員長	白石 光弘	秋田県農業機械商業(協)
	阿部 宏見	秋田県漆器工業(協)		原田 啓藏	秋田たばこ販売(協)
	伊藤 和宏	秋田市工業団地(協)		平澤 孝夫	秋田県(商振連)
	佐賀 善美	コーディネート秋田(協)		進藤 政弘	秋田県中小企業青年中央会
				辻 篤志	あきた共通商品券(協)
自動車関連・サービス業委員会			建設・官公需関連業委員会		
委員長	工藤 憲三	秋田県ハイヤー(協)	委員長	加藤 憲成	秋建(協)
副委員長	仙花 久彌	秋田県自動車車体整備(協)	副委員長	大門 一平	秋田県印刷(工)
	伊藤 哲之	秋田県自動車整備(商工)		國安 教善	秋田県石油商業(協)
	最上 育平	秋田県中古自動車販売(商工)		伊藤 三男	秋田県生コンクリート(工)
	長崎 雄二	(企)秋田北部清掃興業		高橋 正男	秋田管工事(協)
	村岡 淑郎	秋田県火災共済(協)		嶋田 弘	秋田県電気工事(工)
	大嶋 秀夫	秋田県葬祭業(協)			

# 「秋田県官公需総合相談センター」を 開設しました！

～「平成22年度中小企業者に関する国等の  
契約の方針」が閣議決定～

官公需についての中小企業者の受注の確保に関する法律に基づき、「平成22年度中小企業者に関する国等の契約の方針」が、6月18日に閣議決定されました。

同方針により全国の中小企業団体中央会内に「官公需総合相談センター」が新設されることになり、本会でも「秋田県官公需総合相談センター」を開設しました。

本センターでは、官公需に関連する情報の収集・提供等を行い、中小企業者の皆様のご相談に応じます。

## 秋田県官公需総合相談センター

主な業務内容は次のとおりです。

### 1.官公需に関する情報の収集

国・独立行政法人等の地方支分部局等の発注機関、官公需施策を実施する行政機関、官公需適格組合等から情報を収集します。

### 2.官公需に関する情報の提供等

- ・官公需に係る仕事探しの方法や発注情報の有無、入札参加資格の取得等に関し、中小企業者の皆様のご相談に応じます。
- ・中小企業者の皆様に官公需に関する情報を提供するとともに、国・独立行政法人等の地方支分部局等の発注機関、官公需施策を実施する行政機関等からの求めに応じ、情報を提供します。

本会会員組合のみならず、組合員企業の皆様にも対応しております。お気軽にご相談ください。

○ご相談・お問い合わせ先

本会調査広報課 (TEL 018-863-8701)

## 「秋田県官公需受注対策協議会」に ご加入ください!

本会では、官公需の受注の推進を目的として官公需に係る組合等を会員とする「秋田県官公需受注対策協議会」を、8月26日に設立します。

本協議会では、官公需の受注確保のための関係機関への要望や、官公需の受注に関する情報提供など、会員の受注機会の確保に貢献する活動を行います。

本協議会の加入にあたっては、少しでも多くの組合等にご加入頂けるよう、年会費を徴収しないこととしております。是非、ご加入くださるようお願い致します。

○加入申し込み・お問い合わせ先

本会調査広報課 (TEL 018-863-8701)

## ■「平成22年度中小企業者に関する国等の 契約の方針」の主なポイント

### 1.中小企業者の受注機会の増大のための主な措置

#### (1)中小企業者の自助努力への支援強化

- ①国の発注機関ごとに「官公需相談窓口」を設置
- ②官公需の仕事探しの相談に応じる「官公需総合相談センター」を全国に設置
- ③中小企業支援機関での支援ツールとして、官公需ポータルサイト (<http://kankouju.jp>) の利用を促進

#### (2)ダンピング防止対策の充実

人件費割合の高い役務契約において、予定価格を大幅に下回る入札が散見され、支払賃金の削減や下請け企業へのしわ寄せ、作業品質の低下等が懸念される。このため、次の項目を実施する。

- ①低入札価格調査において、入札価格内訳書の徴収を徹底
- ②落札者名の公表を徹底し、公正取引委員会、労働基準監督署などの規制当局による監視に繋げる

#### (3)特殊会社に対する努力要請

官公需法に努力義務が定められている地方公共団体に加えて、民営化により官公需法の対象外となった特殊会社に対し、国の取組に準じた努力を所管大臣から要請する。

(注) 国100%出資の会社を想定

### 2.中小企業者向け契約目標

平成22年度国等の中小企業者向け契約目標金額

**約3兆8,656億円**

官公需総予算額に占める割合

**56.2%**

参考：平成21年度中小企業向け契約実績額

約4兆1,932億円

官公需総予算額に占める割合 53.1%

意欲ある中小企業が新たな展望を切り拓けるよう、中小企業政策の基本的な考え方と方針を明らかにした「中小企業憲章」が、去る6月18日に閣議決定されました。

本憲章では、今日の中小企業の経済的・社会的役割などについての考え方を基本理念として示すとともに、中小企業政策に取り組むに当たっての基本原則や、それを踏まえて政府として進める中小企業政策の行動指針が示されています。概要は次のとおりです。

## 1. 基本理念

中小企業は国家の財産ともいべき存在である。少子高齢化、経済社会の停滞などにより、将来への不安が増している中、不安解消の鍵となる医療、福祉、情報通信技術、環境・エネルギーなどは、市場の成長が期待できる分野でもある。中小企業の力がこれらの分野で発揮され、豊かな経済、安心できる社会、そして人々の活力をもたらす。

## 2. 基本原則

### 一. 経済活力の源泉である中小企業が、その力を思う存分に発揮できるよう支援する

中小企業組合、業種間連携などの取組を支援し、力の発揮を増幅する。

### 二. 起業を増やす

起業促進策を抜本的に充実し、日本経済を一段と活性化する。

### 三. 創意工夫で、新しい市場を切り拓く中小企業の挑戦を促す

中小企業を持つ多様な力を発揮し、多くの分野で自由に挑戦できるよう、制約の少ない市場を整える。

### 四. 公正な市場環境を整える

力の大きい企業との間で実質的に対等な取引や競争ができず、中小企業の自立性が損なわれることのないよう、市場を公正に保つ努力を不断に払う。

### 五. セーフティネットを整備し、中小企業の安心を確保する

金融や共済制度などの面で、セーフティネットを整える。再生の途をより利用し易いものとし、再挑戦を容易にする。

## 3. 行動指針

### 一. 中小企業の立場から経営支援を充実・徹底する

ものづくり分野を始めとする技術開発、教育・研究機関、他企業などとの共同研究を支援する。

### 二. 人材の育成・確保を支援する

魅力ある中小企業への就業や起業を促し、各学

校段階を通じて健全な勤労観や職業観を形成する教育を充実する。

### 三. 起業・新事業展開のしやすい環境を整える

資金調達を始めとする起業・新分野進出時の障壁を取り除く。成長分野において中小企業が積極的な事業を展開できるよう制度改革に取り組む。

### 四. 海外展開を支援する

中小企業が海外市場の開拓に取り組めるよう、官民が連携した取組を強める。

### 五. 公正な市場環境を整える

大企業による代金の支払遅延・減額を防止する。国及び地方自治体が中小企業からの調達に配慮し、受注機会の確保や増大に努める。

### 六. 中小企業向けの金融を円滑化する

経営革新や技術開発などを促すための政策金融や、起業、転業、新事業展開などのための資金供給を充実する。

### 七. 地域及び社会に貢献できるよう体制を整備する

高齢化・過疎化、環境問題など地域や社会が抱える課題を解決しようとする活動を広く支援する。

### 八. 中小企業への影響を考慮し政策を総合的に進め、政策評価に中小企業の声を生かす

中小企業庁を始め、関係省庁が、これまで以上に一体性を強めて、総合的に中小企業政策を進める。地域経済団体の協力を得つつ、全国の中小企業の声を広く聴き、政策効果の検証に反映する。

## 結 び

起業、挑戦意欲、創意工夫の積み重ねが一層活発となるような社会への変革なくしては、この国の将来は危うい。変革の担い手としての中小企業への大いなる期待、中小企業が果敢に挑戦できるような経済社会の実現に向けての決意を政府として宣言する。

全文は、経済産業省、中小企業庁のホームページでご覧頂けます。

中小企業庁は「中小企業白書 2010 年版」を発表しました。

本白書では、最近の中小企業の動向について分析するとともに、**中小企業が中小製造業集積の維持・発展、環境・エネルギー制約への対応、少子高齢化時代の新事業展開**にどのように取り組み成長しているのかを分析しています。

今回は、本白書から中小企業の事例を抜粋してご紹介します。

## 1 地域資源を活用した商品開発

地域には、特産品や伝統的な技法、自然や歴史遺産などの文化財など、独自の資源が存在する。中小企業が、各地域の「強み」である地域資源を活用し、新商品・新サービスの開発等に取り組むことが期待される。

### 地元瀬戸内海の「いりこ」を活用して食品事業に参入 有限会社瀬戸鉄工（広島県呉市）

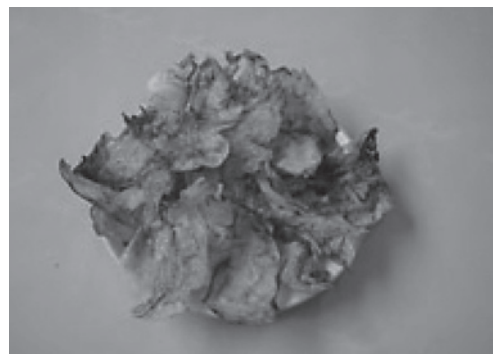
広島県呉市の有限会社瀬戸鉄工（従業員 28 名、資本金 1,000 万円）は、食品製造及び樹脂成形を行う企業である。

1970 年の設立当初は、主として自動車メーカーや弱電メーカーの樹脂の成形加工及びプレス加工を行っていた。同社が食品事業に参入したきっかけは、約 20 年前に瀬戸敏秀前社長が「地元の小学生がサッカーボールを蹴って骨が折れた。」という新聞記事を目にしたことである。記事を読んだ瀬戸前社長は、骨が丈夫になるカルシウムを子どもに摂取させるために、地元の瀬戸内海の内りこを利用することを思いついた。そこで、同社のプレス加工装置を使っていりこを加熱・加圧すると、サクサク食べられる煎餅ができあがったため、地元の小学校に無償で配布した。当初は商品化する予定はなかったが、小学生及び保護者から大きな反響があったことから、商品化を決断した。

その後、技術開発に積極的に取り組み、プレス加工技術を応用した乾燥食品焼成装置を開発し、特許を取得した。同装置で製造された煎餅は、①衛生面が優れている、②水分含有量が少なく長期保存できる、③簡単に食べられる、④加熱による栄養の損失がないという特長がある。

同社には、不景気でも、高齢化の進行や高まる健康志向を背景に、地域資源の利用方法に悩んでいたり、未利用な素材を活用して廃棄に困っているものを活かして付加価値を創出したいと考える地元商工会や各地の調味料メーカー、小売店等から提携の依頼が殺到している。同社は、今後も地域資源を活かして販路開拓を行いたいと考えている。

同社の瀬戸勝尋社長は、「付加価値を付け、差別化を図れる商品開発のアイデアを販売先にいかに分かりやすくプレゼンテーションするかが、需要創出のきっかけである。」と話す。



いりこを利用した煎餅

## 2 環境・エネルギー制約への対応

中小企業は、エネルギー起源二酸化炭素の 1 割強を排出。中小企業は、設備導入を伴う投資による省エネに取り組む余裕がなく、省エネ支援策を活用することにより一層の省エネに取り組むことが期待される。また、独自の技術を活かしてグリーン・イノベーションを推進することにより、我が国の二酸化炭素排出量の削減に取り組むことが期待される。

**太陽熱、廃油、バイオマスエネルギー等の新エネルギーを活用した設備機器を積極的に開発  
富士エネルギー株式会社（鹿児島市）**

鹿児島県鹿児島市の富士エネルギー株式会社（従業員 16 名、資本金 1,000 万円）は、再生可能エネルギーを活用した設備機器の開発・製造を行う企業である。

同社は、高効率の真空管ソーラーシステム「Fuji ヒート P・SOLAR」を開発・製造し、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構の「地域新エネルギー導入促進事業」や「太陽熱高度利用システムフィールドテスト事業」等の支援を受けた企業等において同製品が導入される事例が増えており、第 14 回「新エネ大賞」の新エネルギー財団会長賞を受賞した。

また、太陽熱だけでなく、廃油活用やバイオマスエネルギー開発にも力を入れており、同社が開発した廃油清浄・燃料化装置「Fuji Oil・エコチェンジャー」は、主力製品のの一つになっている。現在は、「牛脂から新しいバイオマスエネルギーを作れないか」という発想が、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構の「新エネルギーベンチャー技術革新事業」に採択されて、動物性固形油脂燃料化装置の開発に取り組んでいる。

同社の巨元明社長は、「中小企業が成長するためには、積極的に新しいことに取り組んでいかなければならない。環境産業はこれから成長していく分野であり、中小企業にもチャンスがあると思う。」と、今後もグリーン・イノベーションに積極的に取り組んでいく意向である。また、事業拡大のために人材育成と雇用拡大に注力するとともに、「環境事業を行う企業として、循環型社会の実現に向けて模範となるべきである。」との考えから、2009 年に鹿児島県日置市に循環型モデル工場とテクノ研究センターを設立・稼働している。



高効率の真空管ソーラーシステム  
「Fuji ヒート P・SOLAR」

**二酸化炭素排出量の低減に資する竹繊維食器を開発・製造 株式会社岩本金属製作所（大阪市）**

大阪府大阪市の株式会社岩本金属製作所（従業員 8 名、資本金 1,000 万円）は、学校給食用食器等を開発・製造する企業である。

同社は、「本業の技術を活かして、環境改善や地域社会に貢献したい。」という岩本和倫社長の考えから、放置竹林を有効活用して竹繊維食器を開発した。当初は、成型に苦労したが、トウモロコシ由来のポリ乳酸を接着剤として添加することで成功した。この製品は、植物由来の原材料を使用することから、カーボンニュートラル（排出される二酸化炭素の量を吸収される二酸化炭素の量で相殺できる）であるため、二酸化炭素排出量の削減につながる。原料の採取から製品の廃棄までの二酸化炭素排出量を数値化するライフサイクルアセスメント（LCA）によると、ポリカーボネート（プラスチックの一種）を原料とする場合と比較して、約 65% の二酸化炭素排出量が削減できることになる。

現在、放置竹林対策を行う福岡県八女市立花町から竹材を調達しており、同町の小中学校 8 校への納入実績がある。全国の地方公共団体からの注目も集まっており、導入に関する相談も増えている。

同社の岩本社長は、「学校給食用食器の製造に長年携わってきており、児童の環境教育の役に立てれば嬉しい。地域社会への貢献にもつながるので、全国の学校へ竹繊維食器を広めたい。」と話し、二酸化炭素排出量の低減に資する竹繊維食器の普及に力を入れている。



二酸化炭素排出量の低減に資する竹繊維食器

### 3 少子高齢化時代の新事業展開

中小企業では、少子高齢化が進行する中、女性や高齢者の活用等労働の多様化が進展。中小企業は、多様な人材を活用するために仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に取り組むとともに、必要な仕事に必要な人材が就くために業種間の人材移動や人材定着のための環境づくりを進めていくことが重要である。また、最先端の医療技術や健康食品の開発等のライフ・イノベーションを推進していくことが重要である。

#### 主婦をネットワーク化して事業を展開

有限会社 PLAN-A（札幌市）

北海道札幌市の有限会社 PLAN-A（従業員 5 名、資本金 300 万円）は、主婦をネットワーク化し、主婦の観点から商品開発等を行う企業である。

同社の竹本相良社長は、起業前に北海道のラジオ番組でフリーランスのパーソナリティーを務めている際に出産を経験し、長期の休暇を取った後の復帰に大変苦労した経験を持つ。また、出産後、子どもを通して専業主婦と付き合いの中で、「専業主婦には素晴らしい能力があるのに、社会復帰をあきらめているのはもったいない。」と思い、専業主婦の社会復帰の手助けをしたいと考えようになった。

その後、ラジオ番組で子育てを取り上げたり、自分自身のホームページを立ち上げて、主婦の社会復帰を積極的に呼びかけるようになった。そして、自ら主婦のライフステージに合った働き方ができるように支援する事業を起こすことを決意し、2004年に経済産業省の補助事業「ドリームゲート」を活用して、主婦のネットワークである「MaM-CaN」の運営を開始した。MaM-CaNと名付けたのは「主婦の可能性」と「主婦の才能が缶詰みたいにいっぱい詰まっている」という意味からで、現時点では、札幌市を中心に20～60歳代の主婦約2,000名が参加している。

MaM-CaNの主な事業は、マーケティング調査やイベント企画等である。具体的には、まず、有限会社 PLAN-A が企業からの商品企画等の依頼を受けると、MaM-CaN に登録している主婦の属性情報から適切な会員を選んで調査協力を依頼する。そして、調査報告後に、企業から対価を受け取り、その一部を協力した会員に報酬として支払う。また、最近では、会員による起業の可能性も視野に入れて、会員の購買力を活用したビジネスモデルの構築に取り組んでいる。

これまでの活動としては、北海道雨竜郡沼田町から依頼された規格外のトマトの有効活用の提案や、住宅メーカーから依頼された北海道の主婦が理想とする家の企画等の実績がある。



規格外のトマトを活用したトマトソース

#### 育児経験をヒントに少子化時代のビジネスで成功

北極しろくま堂有限会社（静岡市）

静岡県静岡市の北極しろくま堂有限会社（従業員 13 名、資本金 300 万円）は、だっことおんぶの用具に関する専門会社である。

同社の園田正世社長は、自らの育児経験から、アメリカのだっこひも「スリング」の良さに気づき、個人輸入でネット販売を始め、その後、日本人の体型や日本の気候を考慮して、母親の肩や腰の負担を軽減し、寒暖の差に対応できるように素材を工夫した、同社独自のだっこひも「キュットミー！」を開発した。

母親にとって初めての子育ては不安が多いが、赤ちゃんの顔を見れば不安が取り除かれる。園田社長は、密着するようなおんぶやだっこが必要だと説く。同社のだっこひもを使うと赤ちゃんとおんぶしてだっこできるために、赤ちゃんも安心して育ち、成長を促すことになる。

現在では、多くの大手百貨店で同社のだっこひもが取り扱われるようになり、雑誌やテレビでも頻繁に取り上げられるようになった。こうした育児経験をヒントにしたビジネス展開が評価され、2005年に日本商工会議所「女性起業家大賞」の最優秀賞を受賞した。2010年には「特定非営利活動法人だっことおんぶの研究所」を設立して、赤ちゃんをだっこやおんぶをすることの啓発と普及活動に努めていく方針である。



だっこひもの使用例





# 暑中お見舞い申し上げます

## 秋田県商工振興 協同組合

理事長

塩田 謙三

副理事長

原田 啓藏

専務理事

高橋 光男

理事

柴田 健

監事

吉原 秀吉

〃

加藤 雄一

秋田市旭北錦町一番四十七号

秋田県商工会館5F  
☎〇一八(八六三)八七〇五



東北オンリーワンの総合物流サービス企業

## YOKOUN

横手運送株式会社

企業理念：総合物流事業を通じて地域社会に貢献します

〒013-0072 秋田県横手市卸町8番14号 TEL.0182-32-3667  
弊社ホームページ <http://www.yokoun.co.jp> FAX.0182-32-5672

車のことなら県内60社子熊のマークのお店でどうぞ



SU 秋田 秋田県中古自動車販売商工組合 秋田市御所野 湯本一丁目1-1  
理事長 最上育平 TEL 018(839)6311

## 秋田県商店街振興組合連合会

理事長 平澤 孝夫

〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号

ほっぺちゃん  
カード

エコポイント  
交換商品

エコポイントと交換できます



あきた共通商品券

あきた共通商品券協同組合

秋田市大町1-2-7 竹半スポーツ3F  
TEL 018-862-1636 FAX018-863-1370

新規加盟店募集

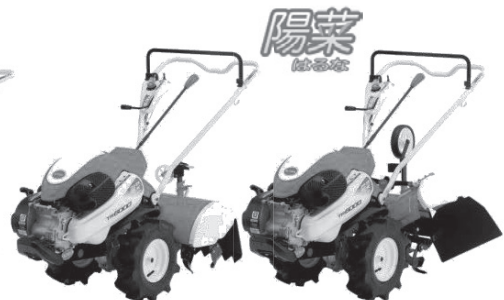
Kubota  
美しい日本をつくろう。



# ようこそ！楽しい菜園生活へ！



NEW  
Midy



まごころと技術でこたえる・・・

株式会社 秋田クボタ

〒011-0901 秋田市寺内字神屋敷295-38  
Tel: 018-845-2121 Fax: 018-845-6600

# 暑中お見舞い申し上げます

## 秋田県自動車整備商工組合

理事長 伊藤 哲之  
副理事長 三浦 廣巳  
" 千葉 倉男  
" 三浦 潔  
" 沼倉 正八  
専務理事 小松 良美

〒010-0962 秋田市八橋大畑二丁目12番63号  
TEL 018-823-6546 FAX 018-863-4603

## 秋田県製麺協同組合

理事長 近藤 隆平

〒010-0934 秋田市川元むつみ町6-24  
☎018(862)4345 FAX 018(862)6338  
<http://www.chuokai-akita.or.jp/akitanomen/>

## 秋田中央遊技業協同組合

理事長 新井 弘泰

秋田市手形字西谷地175の2(遊技会館)  
☎・FAX 018(832)9825

## 秋田県電機商業組合

理事長 山口 道久

外役員一同

秋田市旭北錦町1番47号 秋田県商工会館内5F  
TEL・FAX 018-823-1635

## 秋田県保険鍼灸マッサージ協同組合

理事長 佐藤 テル

〒018-1725 秋田県南秋田郡五城目町西磯ノ目1-2-13  
電話・FAX 018(852)2773  
E-mail: [akihokyo@k5.dion.ne.jp](mailto:akihokyo@k5.dion.ne.jp)  
URL: <http://www.h6.dion.ne.jp/~akihokyo>

官公需適格組合

## 能代山本生コンクリート協同組合

フライアッシュ生コン(JIS規格品)

—— ご用命は、当協同組合へ ——

理事長 佐々木 鉄 美

〒016-0115 秋田県能代市字悪戸115-9  
TEL(0185)58-3560  
FAX(0185)58-3525

組 合 員 秋北生コンクリート株式会社  
中友商事株式会社  
能代中央生コン株式会社

ISO9001:2000 認証取得  
鉄骨・橋梁・総合建設・耐震補強工事

## 千代田興業株式会社

代表取締役社長 藤澤 正義

本社工場 秋田市川尻町字大川反170-49  
☎ 018(864)6200(代) FAX 018(863)1307

〒012-0005  
秋田県湯沢市金谷字樋口 286  
TEL0183-72-0370. FAX0183-72-0375

## 湯雄繊維協同組合

代表理事 後藤 幹 男

資源有限 | <技術力無限

組合員加入受付中



## 秋田県電気管理技術者協同組合

「秋 電(協)」

理事長 山上 憲 人

〒010-0946秋田市川尻総社町10番8号  
TEL 018(863)1833  
FAX 018(823)6944  
e-mail/[akiden01@poplar.ocn.ne.jp](mailto:akiden01@poplar.ocn.ne.jp)

～海原を蒼く豊かに大地に緑を～

総合建設業



## 広洋産業株式会社

代表取締役社長 佐藤 均

・会社所在地 秋田県鹿角市藤本藤本字前野109-2  
・電話 (0185)-25-2150 FAX(0185)-25-2121  
・Eメールアドレス [koyo@h6.dion.ne.jp](mailto:koyo@h6.dion.ne.jp)



# 暑中お見舞い申し上げます



麺のある多様な食文化の橋渡し役  
**ヤマモト 株式会社**

〒010-0917 秋田県秋田市泉中央1-3-56  
TEL:018-863-5344 FAX:018-824-3474

軽合金鑄造設備・自動化省力化設備・酸洗自動化設備・生産設備専用機・設計・製作・販売



**株式会社五十鈴製作所**

Join Together.

碧南工場／〒447-8511 愛知県碧南市雁道町四丁目1番地 TEL0566-48-1211  
秋田工場／〒010-1415 秋田市御所野湯本四丁目1番4号 TEL018-826-1181

頑張る中小企業を  
『信用保証』で応援します!!



会長 小林 憲一

本所 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号  
(秋田県商工会館内)

TEL018(863)9011 FAX018(863)9188

## 地域共栄



取締役頭取 藤原 清悦

秋田市山王三丁目2番1号  
TEL018-863-1212(代表)



取締役頭取 齊藤 永吉

本店／秋田市中通三丁目1番41号  
電話／018-833-4211(大代)

## 中央会共済制度 オーナーズプランⅣ型

# ステイタスM

無配当低解約返戻金型定期保険



**1** 15年以上の保障準備とその後の資産づくりを両立  
・バランスの良いプランニングが魅力です。

**2** 2段階の低解約返戻金期間の設定で割安な保険料と確かな保障  
・割安な保険料で98歳までの長期にわたる保障をご用意いただけます。

**3** 各種制度を利用して「年金としてのお受け取り」「保障の終身化」が可能  
・死亡・高度障害保険金の全部を原資として、年金で受け取ることができます。〈ご契約者が法人の場合〉  
・解約返戻金の全部または一部を原資として、年金で受け取ることができます。〈ご契約者が法人でも個人でも〉  
・保険料のお払い込みを中止し、一生涯保障が続く払済終身保険に変更できます。〈ご契約者が法人でも個人でも〉

※商品内容の詳細は「ステイタスM商品パンフレット」「ご契約のしおり一約款」「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」を必ずご覧ください。

三井生命保険株式会社 〒100-8123 東京都千代田区大手町2-1-1 TEL.03(6831)8000(代表) <http://www.mitsui-seimei.co.jp/>

(C-21-0312(H22.1))

[中央会共済制度引受会社]

**三井生命保険株式会社**

従業員の退職金のご準備に **特定退職金共済制度**

[中央会共済制度のお問い合わせ先は]

**秋田支社** 〒010-0921 秋田市大町1丁目3番8号

秋田営業部 TEL 018(863)1626 大曲営業部 TEL 0187(62)1337 大館営業部 TEL 0186(49)2459  
本荘営業部 TEL 0184(23)2950 湯沢営業部 TEL 0183(72)3230 能代営業部 TEL 0185(54)2520

# 暑中お見舞い申し上げます

## 秋田県中小企業青年中央会

会長 進藤 政弘  
〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号

## 秋田県中小企業団体事務局協議会

会長 鳥居 史郎  
〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号

## 秋田県中小企業組合士会

会長 堀川 深雪  
〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号



ボールペンから事務機まで

有限会社 **かねこ** (かねえん)

本社/秋田市山王五丁目12-21 TEL862-5371(代)  
FAX864-4624  
大町店/秋田市大町三丁目4-45 TEL863-9009



# RICOH

リコージャパン株式会社 秋田支社  
〒010-0061 秋田市卸町四丁目9-1  
TEL 018-823-0111(代)/FAX 018-888-1756  
<http://www.ricoh-japan.co.jp/>

## 秋田ゼロックス株式会社

代表取締役会長 蒔苗 昭三郎  
代表取締役社長 関 昌威

〒010-0941 秋田市川尻町字大川反 170-92  
Tel:018-823-4645 Fax : 018-823-7559

## 頼れる街の法律家

会社・法人設立、会計記帳、建設業許可、経審、入札参加、産廃収集運搬業許可等官公署許認可申請書類の作成及び代理申請、権利義務事実証明関係書類作成、交通事故保険金請求、相続、遺言、任意後見人

## 秋田県行政書士会会員 行政書士 小林 努 事務所

中小企業組合士

〒010-0918 秋田市泉南二丁目3-17  
TEL・FAX 018 (823) 1012

いつもの朝に 郷土の新聞



秋田新報

購読申し込み専用 ☎ 0120-13-1231

# STOP ザ 解雇 !! 解雇は最後の手段です。

## 従業員の解雇を考えている事業主の方へ

解雇してしまうと…

- 労使の信頼関係が崩れ、企業活力の低下につながります。
- 景気回復後の人材確保が困難になります。

「中小企業緊急雇用安定助成金」を検討してみませんか？  
社会保険労務士が無料でサポート致します。

## お電話ください !! TEL 018-864-1666



## 秋田県社会保険労務士会

〒010-0921 秋田市大町 3-2-44 大町ビル 3F FAX018-863-1839  
ホームページアドレス <http://www.akita-sr.or.jp>

# 景況レポート

(6月分・情報連絡員 80名)

## 製造業・非製造業ともに売上が減少

【概況】6月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが10.0%(前月調査7.5%)、「悪化」が51.3%(同42.5%)で、業界全体のDI値は-41.3となり、前月調査と比較し6.3ポイント下回った。

内訳として、製造業全体のDI値は-43.7で前月調査(-31.2)に比べ12.5ポイント下回った。また、非製造業全体のDI値は-39.6で前月調査(-37.5)に比べ2.1ポイント下回った。

製造業は、木材・木製品製造業を中心に設備操業度が上昇した。非製造業は、自動車販売業で登録車が12ヵ月連続で前年同月を上回る等、一部業種で景況に改善が見られるものの、全体のDI値は2ヵ月連続で低下しており、回復感は乏しい。

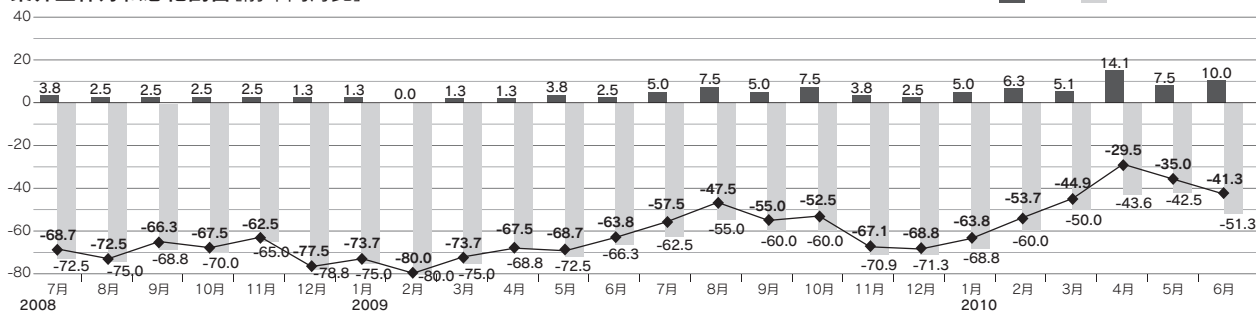
(回答数:80名 回答率:100%)

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
業種						
製造業	☁	☁	☁	☁	☁	☔
非製造業	☁	☁	☔	☁	☁	☔

【凡例】  
 ☀ 快晴 30以上  
 ☁ 晴れ 10以上 30未満  
 ☁ 曇り △10以上 △30未満  
 ☔ 雨 △30超 △30未満  
 ☔ 雷雨 △30以下  
 【天気図の見方】  
 前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index (ティフュージョン・インデックス) の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

業界全体好転悪化割合[前年同月比]



### 業界の声

- パン製造** 6月後半の暑さで売上がダウンしており、厳しい状況である。
- 豆腐製造** 毎年この季節は売上が低迷するが、今年は特に動きが悪かった。
- 清酒製造** 5月分の清酒出荷量は1,350kℓで、前年同月比90.2%で推移した。タイプ別では、吟醸酒が前年同月比で102.9%、純米酒が104.8%、本醸造酒が85.4%、レギュラー酒が88.2%という状況になっている。
- 味噌・醤油** 5月分の出荷量は、前年同月比で味噌が92.6%、醤油は99.6%で推移した。
- 木材・木製品** 原木は取扱量・単価共に上昇している。県外では国産材に移行する動きが見られ、集成材用のスギは堅調に推移しているが、価格が下落気味である。[一般製材]  
木材価格は全体ではまだ低調であるが、合板用素材の価格が1㎡あたり360円程度値上がりして、昨年4～7月の価格に戻りつつある。[素材生産]
- 自動車販売** 6月の新車販売台数は、登録自動車が3,379台(前年同月比162.4%)、軽自動車が2,613台(同144.4%)で、合計5,992台(同154.0%)であった。登録車・軽自動車ともに大幅に前年を上回ったが、これは6月で県の補助金制度が終了するための駆け込み需要と思われる。
- 石油** ガソリン1ℓ当たり138円で前月比1円引き下げ、軽油1ℓ当たり114円で前月比1円の引き下げ、配達灯油は18ℓ1,468円で前月比9円の引き下げとなった。原油安円高傾向により、仕切り価格が弱含みとなって一息ついている状況にある。
- 電機販売** 蒸し暑さの影響でエアコンの売上が伸びており、販売単価も多少上がってきている。テレビは相変わらず堅調であり、冷蔵庫も夏商戦の主力商品として順調に推移している。
- 商店街** 一般消費者の買い控えが続いており、総じて小売物販業は厳しい状況にある(秋田市)。組合病院移転の影響で、地区により売上が10～30%減少しており、最悪の状況にある(鹿角市)。雄勝中央病院と、イオンの郊外出店の影響が大きく、個店の努力だけでは悪化は止められない(湯沢市)。
- 旅行業** 国内、海外ともに売上は前年並みに回復し、7月の予約も回復傾向にある。
- 建築設計** 住宅リフォームへの資金援助により受注件数は増えたが、景気回復には至っていない。

# 日本列島 組合探検隊



## 新製品・新技術・新サービスの開発 和日配の地産地消、「あおもり正直村」ブランドの取り組み

～青森県農産品加工協同組合（青森県）～

### ◆背景と目的

食品の安心・安全、地産地消、フードマイレージなどの関心が高まる中で、①県産原料使用、パッケージの統一、②中小メーカーのために多額の資金を要する共同店舗を設けるのではなく売場借用型での店舗の確保、③大手流通発のPBと真逆の取り組みである中小企業発の自主企画商品を販売する目的で、平成21年5月に組合を設立し、「あおもり正直村」ブランドを立ち上げた。

### ◆事業・活動の内容

事業は、①青森県産農産物使用、②組合共通のロゴ、パッケージの使用、③百貨店、スーパーの一角に独立ブースを設けるという条件で、和日配（こんにゃく、納豆、豆腐、麺）を中心とした食品の共同販売である。これまでブランドのロゴ、パッケージを作成、また「あおもり農商工フェスタ2009」に試験販売として出店し、売場商品が相次いだ。平成21年12月1日より、百貨店、スーパーでの本格販売がスタートした。全国に先駆け農商工連携型組合であるだけでなく、パッケージが統一されていることから、大手チェーンストアが行うPB商品とは正反対の中小企業発の自主企画商品となる。

### ◆成果

大きな成果はブランド構築に成功したことである。ブランド企画としてバイヤーに持ち込んだことで、価格決定権を得た。当組合は、現理事長の鎌田氏が組合づくりの段階から県産品を使用したものづくりを行うべく、つてのない異業種の業者に提案して設立した。成功要因は、毎月の定例会と試験販売を通じ結束力が構築されたことと、各スーパーのバイヤーとの商談を重ね、勝ち取った契約が増えるほどに求心力が強くなったことである。

また、スーパーや百貨店の売場を共同販売の拠点とすることで、従来ある売場に提案次第で、中小企業サイドに有利な条件の販路を得ることができたことである。



### 【組合の概要】

所在地：青森市古川3-14-8

電話：017-775-3001

設立：平成21年5月 組合員：8名

## 地域の活性化 地域住民が優先、地域密着顧客創造型商店街づくり！！

～岩村田本町商店街振興組合（長野県）～

### ◆背景と目的

上信越自動車道整備、長野新幹線佐久平駅開業による周辺地区の商業集積が始まり、岩村田地区から大型店舗が移転するなど急速に賑わいの中心移動が進んだ中、危機感を感じた若手経営者、後継者が、地域密着顧客創造型商店街を目的とし当振興組合を立ち上げ、当時全国で最も若い振興組合（理事平均年齢36.7歳）が誕生した。古くから造り酒屋や味噌醤油の製造業者が集まっていたことから、手作りの街を目指し、「手づくり・手仕事・技の街。地域と共存し、共に生き、働き、暮らす町をつくる。」をコンセプトとし、地域に密着した各種事業を行っている。

### ◆事業・活動の内容

主なものは、①地域と商店街を結ぶコミュニティ施設「中宿おいでなん処」の開設、②地域密着型食料品店舗「本町おかず市場」の開設、③商店街のコンセプトである「手づくり・手仕事・技の街」をテーマに新進気鋭のチャレンジャーを6空き店舗に迎え入れ、チャレンジショップ「本町手仕事村」を開村、④商店街が運営する塾としてはおそらく日本初の「岩村田寺子屋塾」を開塾し地域ぐるみで子育てをしているなどである。「1理事1事業制」をとり、

組合が行う事業は担当理事が責任を持って管理運営する。今後も子育て支援に力を入れるなど、地域住民に密着した事業を行っていく。

### ◆成果

商店街が地域のために各施設を開設したことにより、地域住民とのコミュニケーションを図ることができ、商店街の核としての役割を果たしている。また、「手仕事村」の卒業生が街区内の空き店舗に独立開業し、空き店舗が一気に埋まり、若い創業者による新しい業種業態ができた。平成21年3月に中小企業庁の「新・がんばる商店街77選」に選定。また、平成21年10月には地域商店街活性化法に基づき事業認定され、今後商店街の先進モデルとして注目・期待されている。



### 【組合の概要】

所在地：佐久市岩村田765番地

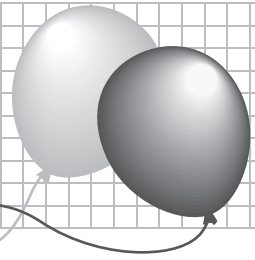
電話：0267-67-3509

設立：平成8年8月 組合員：56名

URL：<http://www.iwamura.com/>

※本コーナーは、全国中央会が取り纏めた「先進組合事例」をもとに編集しています。

# 話題の広場



## 中央会事業 より

### 経営計画作成塾を開催！

7月22日(木)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、「経営計画作成塾」の第1回目を開催しました。

本事業は、組合・企業の経営に必要な基本事項をマスターし、経営基盤の確立、経営改善計画書の作成や経営管理手法等を習得することを目的としており、企業経営アドバイザーの小関昌男氏を講師として、全6回に亘り開催します。

第1回目の内容は、「ビジネスリーダーに必要な力」とし、10名の参加者が熱心に受講しました。

その主なポイントは、次のとおりです。

- 商売とは、組織と組織の戦いである。
- 組織の4条件
  - ①2人以上いること。
  - ②目的があること。
  - ③構成する1人1人に役割がある。
  - ④ルールを守ること。
- 組織の中で一番大切なものは、「人」である。
- 経営に大切なことは「人づくり」であり、計画的に、目的に合わせて人材教育をすること。
- 企業経営とは、トップの思いを如何に達成するかである。その思いを組織の1人1人に理解してもらうために、経営計画を策定する。
- 組織と組織の戦いに勝つには、1人1人が知識と知恵を働かせる体質に変えること。
- 最強の人材を育成することが、最強の組織を作る。



### 地区別組合代表者懇談会を開催します！

本年度の地区別組合代表者懇談会を、次の8会場で開催します。

開催地	開催日	会場
鹿角市	9月1日(水)	鹿角パークホテル
横手市	9月7日(火)	横手セントラルホテル
大館市	9月10日(金)	ロイヤルホテル大館
湯沢市	9月16日(木)	湯沢グランドホテル
秋田市 (工業関係)	9月22日(水)	ホテルメトロポリタン 秋田
秋田市 (商業関係)	9月28日(火)	秋田キャッスルホテル
能代市	10月4日(月)	能代キャッスルホテル
大仙市	10月13日(水)	大曲エンパイヤホテル

本懇談会では、各地区の行政(市・地域振興局)担当者から中小企業施策等について説明して頂く時間も設けております。

詳細は、後日、会員の皆様へお送りのご案内をご覧ください。

組合役員多数の方々のご参加をお待ちしております。

○申し込み・お問い合わせ先

本会調査広報課 (TEL 018-863-8701)

## アラカハト

### 組合創立40周年記念「感謝祭」を開催！ ～協同組合秋田卸センター～

7月10日(土)、秋田市の秋田卸団地において、協同組合秋田卸センター(桑原功理事長、58組合員)の創立40周年記念イベント「秋田卸センター感謝祭」が開催されました。

組合会館内では、組合員企業各社による展示即売、屋外では全組合員58社の協賛によるチャリティーオークションやスタンプラリーが行われた

ほか、野菜産直販売やフリーマーケット、加えて横手焼きそばなどの飲食コーナーが設けられ、たくさんの方の来場者で賑わいました。

また、警察音楽隊の演奏や、シートベルトの効果体験、子どもたちのミニ警察官・白バイ隊員変身体験などもあり、来場者の笑顔が溢れるイベントとなりました。

今回のイベントについて、桑原理事長は、「組合の40年を振り返ると、原点は「団地団結」であり、十数年前までは盆踊り・出庫市などのイベントを開催していた。ここで再び原点に立ち帰り、更なる団地団結のために、お客様への感謝を込めた「感謝祭」を開催することとした。過去に行ってきたイベントをアレンジして、組合員58社が英知を結集した。これからは、新しい時代に合わせた発想を広げ、常に前向きに上を目指して活動していきたい。」と話しました。

創立40周年記念行事の締めくくりとして、「卸団地ふれあいフォトコンテスト」(応募締切8月18日)、10月22日には秋田キャッスルホテルにおいて創立40周年記念式典が開催されます。



## 創立30周年記念式典を開催

～県北自動車整備協業組合～

7月9日(金)、大館市の大館樹海ドームパークセンターにおいて、県北自動車整備協業組合(木村廣治理事長、12組合員)の創立30周年記念式典及び祝賀会が開催されました。

当式典及び祝賀会には、国土交通省東北運輸局秋田運輸支局長大宮勝氏を始めとした来賓や、多数の組合員等、約120名が出席し、節目の年を盛大に祝いました。

また、表彰式では、感謝状1名、永年功労表彰4名、組合専従優良従業員表彰2名の方々が授賞されました。



挨拶する木村理事長

# 支援団体 活動レポート

## 平成22年度通常総会・第1回研修会を開催

～秋田県外国人研修生受入組合連絡協議会～

6月29日(火)、秋田市のアキタパークホテルにおいて、秋田県外国人研修生受入組合連絡協議会(佐賀善美会長、19会員)の平成22年度通常総会及び第1回研修会が開催されました。

総会では、平成21年度の事業報告及び収支決算が承認されたほか、平成22年度事業計画、収支予算案が原案どおり満場一致で可決・承認されました。

また、役員改選が行われ、会長にコーディネーター秋田協同組合の佐賀善美理事長が再任されました。

なお、7月1日から新たに外国人技能実習制度が施行されることに伴い、本通常総会において、当協議会の名称が「秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会」に変更されました。

総会終了後に開催された第1回研修会では、秋田大学教育文化学部准教授島澤諭氏を講師として「秋田県経済の現状と今後について～対中関係から～」をテーマに講演が行われました。島澤氏からは「中国などの発展により、『裏日本』と呼ばれた日本海側の地域は『表』化する可能性がある。今後の県内経済の発展は、いかに秋田県の得意分野を伸ばせるかが鍵となる。」などの話があり、受講者は熱心に耳を傾けていました。



研修会の様子

## 先進組合・企業を視察

～秋田県中小企業団体事務局協議会～

7月2日(金)～3日(土)、秋田県中小企業団体事務局協議会(鳥居史郎会長、会員50名)では、組合の事業運営や企業の事業展開に役立てるために、岩手県奥州市の岩谷堂筆筒生産協同組合と盛岡市の株式会社岩鑄を視察研修しました。



岩谷堂筆筒生産協同組合は、江戸時代からの歴史がある岩谷堂筆筒を製造しており、販路は大手有名デパートが多く、販売先は国内外の富裕層や皇族、角界、歌舞伎界などとのことです。また、株式会社岩鑄は、同じく江戸時代からの歴史を持つ南部鉄器のトップメーカーとして年間約100万個を製造し、フランス・ドイツなど海外にも輸出しています。

14名の参加者は、熱心に説明を受け、製造工程を見学しました。視察後は参加者から「両事業所とも伝統を重んじながら、日本国内外の市場を求めて前向きな事業展開をしていて、とても参考になった。」という感想が寄せられました。

また、研修中には「中央会活動ビジョンについて」の懇談会も行われ、中央会が活動ビジョンを実現するための対策方針が話し合われたほか、各組合での活動指針等についての意見が交わされました。



と。社会貢献は、ちょっとした工夫で実現が可能である。」と話し、気軽に市民活動に参加できる雰囲気づくりの大切について語られました。



# インフォメーション

## Information

### 中小企業団体ゴルフ大会参加者募集！

本会では、会員並びに関係機関相互の交流の促進を目的に、第14回中小企業団体ゴルフ大会を下記のとおり開催します。奮ってご参加ください。

- 日 時 平成22年9月14日(火)  
午前8時14分(第1組スタート)
- 場 所 秋田カントリークラブ  
(太平山コース・日本海コース)
- 参加料 1名 3,000円  
※プレー代等は、各自でご精算願います。  
※ビジタープレー代:10,500円(大会特別優待価格)  
(プレー代には、グリーンフィ、キャディフィ、利用税、諸経費、消費税が含まれておりますが、食事代、カート代は別途必要です。なお、全組キャディ付き乗用カート利用です。)
- 申込期限 平成22年8月24日(火)
- 【申し込み・お問い合わせ先】  
本会調査広報課 (TEL 018-863-8701)

### 平成22年度通常総会・第1回研修会を開催 ～秋田県中小企業組合士会～

7月21日(水)、秋田市の第一会館において、秋田県中小企業組合士会の平成22年度通常総会及び第1回研修会が開催されました。

総会では、平成21年度の事業報告及び収支決算が承認されたほか、平成22年度事業計画、収支予算が原案どおり満場一致で可決・承認されました。

また、役員改選が行われ、会長に協同組合秋田卸センター堀川深雪課長が再任されました。堀川氏は平成22年2月から会長を務めており、組合士会では全国初の女性の会長です。(後掲:「組合ティールーム」をご覧ください。) 就任にあたり堀川会長は、「会員の増加を含め課題も多くあるが、現会員の地位向上につなげられるよう、できることから実行し、『組合士』の存在価値を広く認識してもらえる会にしていきたい。」と話しました。

総会終了後は、第1回研修会が開催され、SiNG代表武内伸文氏を講師に、「気軽に始められる企業の社会・環境活動」をテーマに講演が行われました。武内氏は、「企業としての社会活動の継続のコツは、本業の延長線上にある無理のないことから始めるこ

### 秋田県特産品開発コンクールの作品募集！ ～秋田県～

秋田県では、品質・価格・デザインなどの点で消費者の購買心理に訴えるような新しい秋田県産品を表彰・PRすることにより、本県の特産品の開発及び改良を促進し、産業の振興に寄与するた

め、「秋田県特産品開発コンクール」を次のとおり開催します。

- 実施主体 秋田県  
(委託先：(株)秋田県物産振興会)
- 応募資格 県内に事業所を有する企業・組合・各種団体・グループ及び個人
- 応募対象 販売を目的として、審査日以前1年以内に新たに開発された商品で、同一商品の再生産が可能なもの  
※ 過去に生産・販売・応募した商品の改良品も応募できます。
- 応募部門 ①加工食品部門  
(菓子、農林畜水産加工品等、酒類)  
②民芸品部門  
(家具類を除く、小木工加工品、民芸品)
- 応募締切 平成22年8月20日(金)  
午後5時まで(必着)
- 応募方法 応募様式を「美の国あきた」産業労働部食品産業課のホームページからダウンロード、または食品産業課(県庁第2庁舎3F)、各地域振興局地域企画課等に備え付けの申込書により申請して下さい。

【申し込み・お問い合わせ】

(株)秋田県物産振興会 (TEL 018-836-7830)

## 定期健康診断の有所見率の改善について ～秋田労働局～

厚生労働省では、第11次労働災害防止計画において、「労働者の健康確保対策を推進し、定期健康診断における有所見率(健康診断の項目に異常の所見のある方の割合)の増加傾向に歯止めをかけ、減少に転じさせること」を目標の1つとしております。

本県の有所見率は、平成21年には63.8%と、全国平均の52.3%を大きく上回っています。

また、労災支給決定件数も全国的に高水準にあり、脳・心臓疾患の発生防止の徹底を図ることが必要な状況にあります。

事業者の皆様には、所見がある方について改善を図るための就業上の措置や、保健指導、健康教育等、有所見率の改善に向けた取組について、ご協力をお願いいたします。



事務局訪問!

## 組合ティールーム



協同組合秋田卸センター  
課長 堀川 深雪さん

- 仕事の内容を教えてください。

組合の業務全般を担当しています。組合では卸団地内の組合員企業から相談を受けることも多いので、解決するためのお手伝いもしています。

今は、10月に開催する創立40周年記念式典に向けて準備作業を進めているところです。出席して下さる方々に楽しんで頂ける式典にしたいと思っています。

- 今熱中していることは何ですか？

パッチワーク・押し花・リフォームなど、手芸が大好きで、取り掛かると、つい時間を忘れて熱中してしまいます。今は、娘に頼まれて、髪を束ねる「シュシュ」を作っているところ。あと少しで出来上がりです。温泉も好きで、夫と一緒に市内の温泉施設に出掛けて、露天風呂の心地良さを満喫しています。

- お仕事に対する心掛けは？

いつも自分に言い聞かせているのは「プロとしての仕事をしたい」ということです。分からないことは聞いたり調べたり、誠意を持って対応にあたり、常に新しいこと、新しい自分に挑戦していきたいと思っています。

- 全国初の女性会長に就任した「組合士会」のPRをお願いします。(17ページ参照)

「1組合1組合士」をキャッチフレーズに受験の呼びかけを行っています。会は和気あいあいと、研修会など皆さん楽しみにしていますヨ!

- 愛読書があれば教えてください。

宮部みゆきの「模倣犯」など、ミステリーものが好きです。

## 周年事業を開催される組合の皆様へ

本年度、組合の周年事業において表彰式を開催される予定の組合がありましたら、本会の会長表彰に関する対応を致しますので、本会へご一報下さるようお願い致します。

○ご連絡先 本会総務企画課(☎018-863-8701)

## 中央会メール情報サービス(無料)のご案内!

本会では、各種補助金の募集やイベント・セミナー情報等を組合や組合員企業へ電子メールにてお届けする「中小企業メール情報サービス」を提供しております。皆様の経営の一助として是非ご活用下さい。

お申し込みお問い合わせは、本会調査広報課(☎018-863-8701)までご連絡下さい。なお、購読の申込については、下記 URL から直接申し込みできます。

<http://www.chuokai-akita.or.jp/emails/mail.html>

## 本会ホームページをご覧ください!

「中小企業あきた」を本会のホームページに掲載しています。

ホームページでは、バックナンバーもご覧いただけます。

是非ご活用下さい!

URL <http://www.chuokai-akita.or.jp/kaihou/>



## 官公需適格組合

『カデル』

## 秋田管工事業協同組合

理事長 高橋正男  
副理事長 宮崎真吾  
" 本多秀文

秋田市山王臨海町3番18号

☎018(862)6161/FAX 018(824)5685



“企業の挑戦を応援します”

株式会社 北日本リース

考えてみませんか? 経営の次にあるもの...

設備資金・生命保険・損害保険・資産形成・相続・事業承継等  
ご相談をお気軽にどうぞ!!

秋田市高陽幸町8-17 TEL 018(883)1888

FAX 018(883)1822

E-mail: [njl@cna.ne.jp](mailto:njl@cna.ne.jp)

ホームページ: <http://www.njl.jp/>

## ご存知ですか? “出向と移籍で築く人と企業の安心ネット”を!

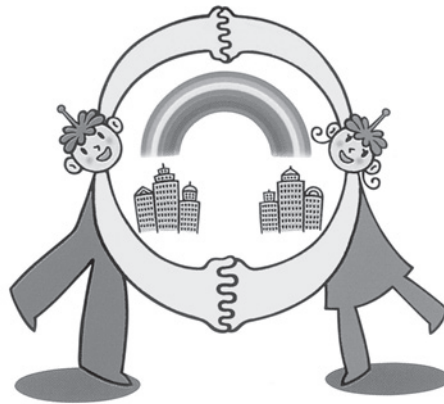
「やむなく人員削減を…」 「即戦力の人材確保を…」 と  
お考えの企業の皆様へ

経済・産業団体、厚生労働省と連携して、

全国的なネットワークで出向・移籍のあっせんに努めています。

### 全国ネットの 人材情報

企業間の出向・移籍の  
お手伝いを47都道府県の  
事務所で行っています。



#### 幅広いデータベース

ハローワークや経済団体などと連携し  
豊富な人材情報を提供しています。

#### 信頼と安心のかけはし

経済・産業団体と厚生労働省の協力で  
設立された公益法人です。

#### 在職者の方もサポート

在職者の方の職業相談・職業紹介を行っ  
ています。

#### 相談等の費用は無料

情報の提供、相談、あっせんについての  
費用はかかりません。

お問い合わせ・ご相談はこちらまで

出向・移籍の専門機関



財団法人 産業雇用安定センター秋田事務所

〒010-0951 秋田市山王3-1-7 東カンビル4F

TEL 018-823-7024 FAX 018-883-4215

※ホームページのご案内 <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

\*\*\*ご利用時間\*\*\*

午前9時から午後5時  
(土・日・祝日は休業)

【全国中小企業団体中央会  
の業務災害補償制度】

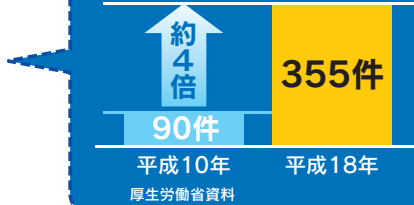
企業責任と企業防衛に心強い味方

経営ダブルアシスト

一般傷害保険・労働災害総合保険（使用者賠償責任保険）

自殺や過労死等の労災が増加！！メンタルヘルスに起因する労災の高額賠償も…

過労死（脳血管疾患及び虚血性疾患等）  
等事業の労災補償状況



労災事故の高額判決例

平成8年判決

広告業（過労自殺）

1億2600万円

平成14年判決

医大（過労死）

1億3500万円



割引を適用！

割安な保険料で加入！

全国中小企業団体中央会  
の会員の皆様なら  
一般傷害保険部分の  
保険料がなんと

最大  
約46%割引

大幅な割引率で  
ご加入いただけます。



備えは万全！

あんしんのダブル保障！

死亡事故等により  
賠償責任を負った場合の

賠償補償

と  
死亡保険金や  
入院等の治療費等の

定額(費用)補償

の  
両方を補償します。

賠償  
補償  
+  
定額  
補償

お支払いもスピーディ！

スムーズにお支払い！

政府労災保険の  
給付決定を待たずに

保険金をお支払い

します。  
急な出費にも  
安心です。

政府労災保険  
給付決定後  
にお支払い。

経営ダブル  
アシスト  
定額補償部分は  
独自の基準で  
お支払い。

《お問合せ先》東京海上日動火災保険株式会社 秋田支店・秋田支社 TEL 018-832-9229（担当：蔵田・佐藤）

※ご希望がございましたら、代理店担当者がおすすめプランをご提案いたします。

10-T-03051 10年07月作成

業務災害補償制度

業務災害への備えは充分ですか？

例えば、こんなご心配はありませんか？

心配は万一の  
死亡や後遺障害だな。

- 重大なケガのリスクのために
- 企業防衛のために

ちょっとした  
ケガが多いな。

- ケガの発生リスクが大きい場合に
- 従業員向けの福利厚生として

パート・アルバイトの  
ケガが心配だな。



全国中小企業団体中央会

業務災害補償制度<sup>(※1)</sup>であれば、

万一の業務災害から企業経営を守ります。個別で加入するより **最大約46%割安!**<sup>(※2)</sup>

(※1) 業務災害補償制度は傷害総合保険、労働災害総合保険（使用者賠償責任条項）で構成されています。

(※2) 団体割引20%、過去の損害率による割引25%、役員員一括契約割引10%（売上高より換算した被保険者数が20名以上の場合）を適用した傷害総合保険部分の1名あたりの保険料です。

詳しい内容については、損保ジャパンまでお問い合わせください。

〈引受保険会社〉

株式会社 損害保険ジャパン 秋田支店 秋田支社 秋田市大町3-3-15 ☎018-862-8425



(SJ10-03765 2010/07/20)

2010

8

Aug

中小企業あきた

平成22年8月1日発行（毎月1日発行）第603号

発行／秋田県中小企業団体中央会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47 ☎018-863-8701 FAX 018-865-1009

印刷／秋田活版印刷(株)

定価280円